



天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成22年

8.1

No.104



梅雨の晴れ間に“市の花”「はまぼう」を楽しむ

“市の花”に指定されている「はまぼう」の観察会が7月10日、新和町大宮地地区にある日本最大級のはまぼう群生地一帯で開かれ、60人が参加しました。参加者は、はまぼうの研究者である長崎大学の中西弘樹教授（写真左端）の説明を聞きながら、同群生地周辺約3kmを散策。美しく咲き誇る黄色い花を楽しんでいました。

主な内容

- 平成22年度施策と主な事業を紹介！… 2～7
- 議会報告 …………… 8～9
- 教育委員会だより …………… 10～11
- 宝島のわだい …………… 12～15
- みんなの広場 …………… 16～19

施策と主な事業を紹介！

第3回市議会定例会の冒頭で、安田市長が平成22年度の施政方針を表明しました。今回、施政方針の概要を6つの重点項目ごとに分けて紹介します。また、あわせて主な事業とその予算額についてもお知らせします。（※金額は万円未満を四捨五入）

1 豊かな産業づくり

厳しい経済状況の中で、「活力ある天草の創造」を実現するには、農林水産業をはじめ各種産業の振興を図り、雇用の場を創出するための施策を積極的に推進し、地域経済を活性化する必要があります。とりわけ、基幹産業である農林水産業の振興はその大きな柱であり、重点的に施策を実施していきます。

業者・企業・団体などが、オリーブ栽培を通じた地域振興やオリーブの加工、商品開発・販売などの取り組みを行う「オリーブの島づくり」を推進し、天草における新産業モデルとして、オリーブの栽培に積極的に取り組んでいきます。

また、今年度から試行されている、国の米戸別所得補償モデル事業や、野菜などの価格安定対策にも取り組み、農家所得の向上と経営の安定を図っていきます。また、耕作放棄地の実態把握を行い、放棄の状況に応じた対策を講じ、再生に努め、耕作放棄地の有効利用と農産物の生産拡大を図っていきます。

- オリーブの島づくり支援・推進事業 [企業・市民が行うオリーブ栽培や商品開発などを支援。耕作放棄地・オリーブ適地調査員等の配置やオリーブ振興協議会への補助などを行う]……4,711万円
- 新規就農支援事業 [就農希望者を雇用し、農家などにおいて基本的な農業技術の研修を行う]……673万円
- 藻場現況調査事業 [藻場造成適地の選定や造成手法の基礎資料とするため、藻場の現状を調査する]……623万円
- 就職支援事業 [雇用不安の解消や事業者の雇用意欲を喚起するため、新規雇用事業者に対し雇用促進交付金を交付する]…3,060万円



オリーブ栽培により新しい第6次産業の創出を図る

水産業については、つくり育てる漁業の推進を基本に、関係機関との連携を図りながら、種苗放流をはじめ、漁場環境の保全や藻場の調査・研究を実施し、漁業生産力の向上を図っていきます。

また、今年度から試行されている、国の米戸別所得補償モデル事業や、野菜などの価格安定対策にも取り組み、農家所得の向上と経営の安定を図っていきます。また、耕作放棄地の実態把握を行い、放棄の状況に応じた対策を講じ、再生に努め、耕作放棄地の有効利用と農産物の生産拡大を図っていきます。

2 魅力ある観光地づくり

観光は、経済波及効果や雇用創出効果の高い総合産業であることから、天草をさらに魅力ある観光地として発展させ、交流人口を増やすことは、きわめて重要です。

また、今年度から試行されている、国の米戸別所得補償モデル事業や、野菜などの価格安定対策にも取り組み、農家所得の向上と経営の安定を図っていきます。また、耕作放棄地の実態把握を行い、放棄の状況に応じた対策を講じ、再生に努め、耕作放棄地の有効利用と農産物の生産拡大を図っていきます。

雲仙・天草観光圏整備計画の推進については、圏域の特性をいかした滞在型観光への転換を図るため、国際的にも競争力のある転地・滞在や交流型の観光圏を整備し、観光客の来訪と滞在の促進を図っていきます。

また、平成23年春の九州新幹線全線開業を控え、九州新幹線に接続した天草地域の観光振興や日常生活における移動の利便性向上を図っていきます。そのために、新幹線の停車駅である鹿児島県の出水駅から牛深への交通アクセス



▲平成23年4月に40周年を迎える「牛深ハイヤ祭り」

の改善と、天草の南の玄関口である牛深を起点とした天草周遊バスの運行事業に取り組んでいきます。平成23年度には、牛深ハイヤ祭りが40回目の節目を迎えるので、これを記念イベントとして位置づけ、内外に広くアピールしていきます。

また、天草は、早くに南蛮文化が開花するなど特有の歴史や、日本ジオパークに認定されるような恵まれた自然環境など、現代の教育旅行に求められる多くの素材を有している。これらの素材をいかした教育旅行の誘致、合宿や大会の誘致も積極的に推進し、交流人口の増加を図っていきます。

また、平成23年春の九州新幹線全線開業を控え、九州新幹線に接続した天草地域の観光振興や日常生活における移動の利便性向上を図っていきます。そのために、新幹線の停車駅である鹿児島県の出水駅から牛深への交通アクセス

また、平成23年春の九州新幹線全線開業を控え、九州新幹線に接続した天草地域の観光振興や日常生活における移動の利便性向上を図っていきます。そのために、新幹線の停車駅である鹿児島県の出水駅から牛深への交通アクセス

また、平成23年春の九州新幹線全線開業を控え、九州新幹線に接続した天草地域の観光振興や日常生活における移動の利便性向上を図っていきます。そのために、新幹線の停車駅である鹿児島県の出水駅から牛深への交通アクセス

また、平成23年春の九州新幹線全線開業を控え、九州新幹線に接続した天草地域の観光振興や日常生活における移動の利便性向上を図っていきます。そのために、新幹線の停車駅である鹿児島県の出水駅から牛深への交通アクセス

- 島内周遊バス運行事業 [天草島内における2次交通整備の一環として、観光周遊バスを運行する]……800万円
- 新幹線開業対策事業 [新幹線の開業に合わせた海道博の開催や牛深ハイヤ40周年記念事業への補助を行う]……8,020万円
- 食事処マップ等作成事業 [新幹線開業に合わせておみやげ品店や食事どころのマップ、のぼり旗などを作成する]……300万円
- ジオパーク環境整備・推進事業 [鳥島展望所の整備や伝馬舟等係留棧橋の改修、柵木(牧島)ジオサイトの通路改修や、「天草ジオパーク構想」の策定・案内板の設置、パンフレットの作成などを行う]…3,327万円

3 快適な生活環境づくり

ゆとりと潤いのある生活、私たちが心豊かに生活するうえで基本となる、快適な生活環境づくりを推進するため、次のような施策を展開していきます。

まず、水道事業については、より安心で安全な飲料水の供給に取り組みますが、共同水源等を利用した未普及地域においては、近年の水不足や水質の悪化などによる、生活への支障が懸念されており、早急な対策が必要であると考えています。

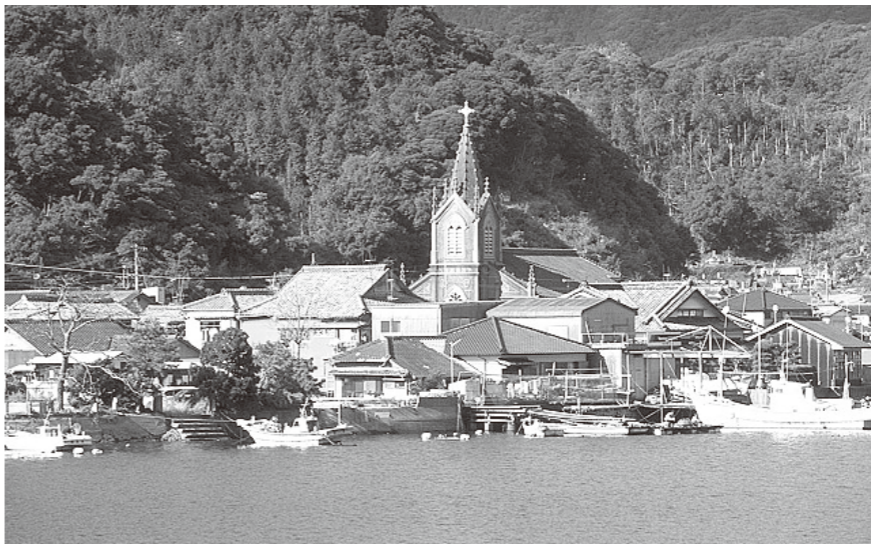
水道事業の拡張計画や小規模水道施設補助金など、関連事業を考慮しながら、均衡あるサービスの提供を図るよう、普及の推進に取り組んでいきます。本市南部の水源確保については、路木ダムの早期完成に向けて、県と連携しながら推進していきます。

次に、市民の健康増進の関連では、「天草市健康増進計画」や「天草市食育推進計画」

に基づき、「運動」「食改善」「健診」をリンクした保健事業を展開していきます。また、「特定健診・特定保健指導」については、未受診の人への周知・啓発に取り組み受診者数の拡

大に努め、生活習慣改善のための支援を早期に実施していきます。また、人間ドック・各種がん健診への補助や健康教育・健康指導などの事業を通じて、疾病の発症や重症化を予防し、市民の健康増進と医療費の節約につながるよう取り組んでいきます。

乳幼児医療費助成制度では、子どもたちの健全育成や子育て支援の充実のために、名称を「子ども医療費助成事業」と改め、医療費の無料化の範囲を小学校3年生までに拡大し、保護者負担の軽減を図ります。また、子どもたちの発達支援を目的とした5歳児健診を開始し、健診時に保護者からの子育てに関する悩みや相談をおうかがいし、不安



▲重要文化的景観指定に取り組む「崎津教会と漁村景観」

は、子どもたちの健全育成や子育て支援の充実のために、名称を「子ども医療費助成事業」と改め、医療費の無料化の範囲を小学校3年生までに拡大し、保護者負担の軽減を図ります。また、子どもたちの発達支援を目的とした5歳児健診を開始し、健診時に保護者からの子育てに関する悩みや相談をおうかがいし、不安

解消の手助けにつなげたいと考えています。市立4病院については、病院事業の経営形態を本年4月から地方公営企業法の全部適用へ移行し、「安定した経営基盤の確立」と「安心・安全の医療提供」を旨として新たなスタートを切りました。また、本年1月から平成25年度末までの期間を対象とした「熊本県地域医療再生計画」では、天草医療圏をモデルとした医師確保対策が盛り込まれているので、医療体制向上のため、県や関係医療機関などの協議や連携を図りながら取り組んでいきます。福祉では、地域福祉の推進を図るため、身近な福祉課題、生活課題を地域全体で共有し、解決できるように、町内会、ボランティア、福祉関連施設・事業所などに至るまでの地域見守りネットワークを構築していきたいと考えています。

また、地域の要援護者・地域支援者、避難所、危険地域、集会所、医療機関などを記入した、住民支え合いマップ」ありの天草見守りマップ」の作成を進めていきます。障がい者福祉については、障がいを持つ人が地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関の連携を深め、さらなる福祉サービスの充実に努めていきます。

- 乳児家庭全戸訪問事業 [子育てへの不安を取り除くため、生後4カ月を迎えるすべての乳児のいる家庭を訪問する]……………464万円
- (仮称)子ども未来センター設置調査事業 [子ども未来センターを設置するために先進地の状況を調査する]……………50万円
- 子ども医療費 [小学校1～3年生までの子どもが医療機関で受診した際に支払う負担金の全額を助成する]……………3,212万円
- 崎津地区街なみ環境整備事業 [崎津地区における住環境の現況調査や整備方針の策定などを行う]……………1,232万円

4 地域を担う人づくり

関する相談窓口を明確にし、専門的で適切な支援、行政サービスを受けることができる体制を構築するため、子育て支援の核となる「(仮称)子ども未来センター」の設置に向け、現状の把握、分析に取り組みしていきます。

防災については、今回、「天草市防災マップ」を作成し、「市政だより」(6月1日号)といっしょに全世帯に配付しました。今後も、自主防災組織の育成支援や消防関係資機材の整備、防火水槽や消火栓の設置を進め、地域消火力の維持に努めるとともに、地域における災害への備えを強化し、安心・安全なまちづくりを推進していきます。

文化振興では、世界遺産登録を推進するために、関係機関・団体と連携をとりながら、崎津教会と漁村景観については本年、大江教会と農村景観については平成23年に重要文化的景観指定への申し出を行うとともに、長崎県と連携しながら、県内初の世界遺産の登録を目ざして、重点的に取り組みを進めていきます。

地域づくりの基本は、郷土意識を持ち、地域資源をいかにしながら主体的に地域づくり活動に取り組んでいただくことが重要です。「まちづくり協議会」と「地区振興会」が誕生し、5年目を迎えますが、各地域で健康づくりや子育て支援、地場農産品の加工販売やまち歩きの実施など、住民主体の地域づくりが着々と進められています。住民自治組織のさらなる強化を図るため、座学や実務研修、まちづくり講演会などを実施し、地域リーダーの育成や地域活動

を支援するコミュニティ主事の資質向上も図っていきます。各地区振興会では、現在の地区の将来像を示す「地区振興計画」の策定作業が進められているので、新たな財政支援制度を立ち上げ、その実現を支援していきます。

男女共同参画社会の実現については、市民意識調査を実施するとともに、各種啓発事業を展開し、すべての人が共に生きる社会づくりを実現する施策の推進を図っていきます。

- NPO支援事業 [NPO等に対する理解を深めるため、セミナーや講演会などを開催する]……………27万円
- 楠浦・牛深小学校改築事業 [児童の安全を確保するため、耐震性能が低い不適格校舎の改築を行う。また、老朽化した校舎を改築し、学校統廃合計画を促進する]……………4億6,679万円
- (仮称)五和中学校建設事業 [耐震性能が低い五和東・西中学校を統合し、新統合中学校を建設する]……………1億3,920万円
- ふるさと体験事業 [小学3・4年生の児童が、天草市の伝統・文化・自然・歴史などとふれあう体験活動を授業の中に取り入れる]……………164万円

教育関連では、学校教育においては、学校訪問指導の計画的な実施や、研究指定校としての研究成果の全学校への普及などにより、確かな学力の向上に向けた支援を行うとともに、学習指導補助教員や学校司書を継続して配置することにより、きめこまやかな指導の充実、児童・生徒の読書活動の推進をさらに図っていきます。いじめや不登校問題に対しては、天草市教育相談事業を中心とした取り組みの充実を図り、教育指導アドバイザーや教育相談カウンセラーによる適切な指導や支援を実施していきます。また、小学校3・4年生を対象に、天草の伝統・文化・自然・歴史などとふれあう体験活動を充実し、ふるさとを再発見する「ふるさと体験事業」を新たに実施していきます。



▲平成23年4月開校予定の楠浦小学校 (イメージ図)

学校規模の適正化については、「天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画」に基づき、保護者や地域の皆様のご理解を得ながら、学校の適正配置を進め、教育効果の向上と教育環境の整備を図っていきます。学校施設については、耐震化対策に重点を置き、特色ある教育活動が展開しやすい環

5 機能的な社会基盤づくり

境整備に努めていきます。今年度は楠浦小学校・牛深小学校（仮称）五和中学校建設の推進と施設整備を図っていきます。

市立図書館については、市民の読書活動を推進するため、本年度、祝日を試行的に開館し、開館日や開館時間の見直しを行うとともに、蔵書の充実も図っていきます。

スポーツ振興については、さまざまなライフスタイルに対応できるスポーツ環境の整備に努めるとともに、引き続き「総合型地域スポーツクラブ」の設立や健康増進のためのニューズスポーツなどの普及にも取り組んでいきます。

国際交流については、現在、姉妹都市を締結している米国のエンシニタス市との交流を促進するとともに、日本・ポルトガル修好150周年を契機に、本市の歴史的資産であるキリシタン文化、南蛮文化と関わりの深いポルトガルの都市との交流を推進し、未来を担う青少年の育成に努めていきます。

九州西岸地域の交流拠点都市としての機能を発揮するためには、道路や情報通信網などの社会基盤の整備を図る必要があります。

来春には九州新幹線が全線開業しますが、新たな人の流れを天草に呼び込むためにも、熊本天草幹線道路の重要性が、ますます高まっています。現在、熊本宇土道路、宇土道路や新天門橋を含む大矢野バイパスが事業着手されており、第二天草瀬戸大橋を含む本渡区間については、熊本天草幹線道路（仮称）本

渡道路）検討委員会からの提言があつているので、事業主体である県との協議を進め、早期事業着手に向けて関係機関に強く要望していきます。

また、天草地域の振興・発展と、九州西岸地域の交流拠点都市としての機能を発揮するためには、島原・天草・長島連絡道路などの整備促進は、切り離せない課題であります。関係機関と連携し、国等への要望活動などを積極的に行い、早期実現に向け取り組んでいきます。

情報化の推進では、平成21

- 梨の木地蔵園線道路改良（交付金）事業**〔天草地域医療センターから国道266号へつながる市道の道路拡幅工事を行う〕……………**2,000万円**
- 都市計画マスタープラン策定事業**〔住民の意見や地域の課題を整理し、都市の将来像や都市整備の基本方針などを盛り込んだ計画の策定に取り組む〕……………**608万円**
- 市道改良（単独）事業**〔大規模、小規模、災害防除の単独工事〕……………**3億1,811万円**
- 倉岳・御所浦間みなと振興交流事業**〔棚底港を整備することにより、地域住民の海上交通手段の充実と、来客者の観光施設利用拡大を促進する〕……………**2億2,950万円**

6 環境と共生のまちづくり



▶棚底港を整備し、地域住民と来客者の利便性の向上を図る

また、情報通信技術を駆使して地域が抱える課題を解決するツールの一つとして構築してきた「天草Webの駅・情報タワー」の基盤となるシステムが完成したので、今後、利活用の促進とともに、イン

ターネットや携帯電話を活用した、地域情報などの双方向発信に取り組んでいきたいと考えています。

国においては、世界各国が協調して地球温暖化防止への取り組みを加速的に進めるため、「地球温暖化対策推進大綱」を策定し、国、地方公共

団体、事業者、国民といったすべての主体がそれぞれの役割に応じて総力をあげて取り組むことを求めています。本市においても、廃棄物や

バイオマスの有効利用による低炭素社会バイオマスタウン

天草の実現を目ざすため、「天草市バイオマスタウン構想」に基づき、昨年度から重点プロジェクトとして、老朽化している本渡衛生センター、牛深し尿処理場の更新施設である、し尿・浄化槽汚泥、生ごみの再生処理を行う「バイオマスセンター」の建設用地の選定作業などを行っており、本年度は建設候補地を選定

し、用地の取得に向けた取り組みを進めていきます。

次に、ごみの減量・リサイクルなどの資源化については、これまで、ごみ排出量の5%削減、資源化率20%を掲げ、ごみ分別の徹底を進めており、削減、資源化率ともに目標の達成が図られたところです。今後は、燃やせるごみの大半を占める「生ごみの分別収集を、「バイオマスセンター」の稼働時期に合わせて市内全域へ拡大し、平成25年度までに、さらにごみ排出量3%削減、資源化率10%向上を目ざしていきます。

いる、菜種油などの廃食用油の有効利用については、軽油に代わるバイオディーゼル燃料（BDF）として、ごみ収集車などの公用車に使用しています。今後は、廃食用油の回収体制とBDFへの変換装置の拡充を図り、市内の循環バスやスクールバス、船舶などへの使用拡大や、JRR三角線に運行予定の「菜の花列車」への燃料供給など、BDFの普及促進に努め、環境にやさしい天草の取り組みを市内外にアピールしていきます。

さらに、自然環境保全のための海岸漂着ごみ・不法投棄ごみ対策として、「天草クリーンアップ事業」を実施し、海岸漂着ごみ清掃のボランティア団体などの活動継続への支援、不法投棄防止啓発による海・川の自然環境と景観保全に取り組んでいきます。

また、家庭や職場などで身近な花いっぱい運動を展開し、市民の環境に対する意識の高揚を図り、潤いのあるまちづくりを推進します。美しい景観は、観光においても重要な要素であるので、地域ご

とに特色ある花を選定して植栽するなど、景観からの魅力ある島づくりに取り組みたいと考えています。今年度は、花の選定など事業推進に向けた計画を策定していきます。

次に、住宅用太陽光発電システムの導入推進については、昨年から設けられた国、県の補助制度と本市補助金との併用により経費負担の軽減が図られ、設置戸数が急増している状況なので、今後も国、県と歩調を合わせ、普及推進に取り組んでいきます。

また、大規模太陽光発電施設（メガソーラー）についても、国、県をはじめ、各研究

機関、企業などとの連携を図り、導入策の検討や公共施設などへの設置の可能性、さらには発電した電気の活用方策など、太陽光エネルギーの有効利用に関し、あらゆる方向性について調査・研究していきます。

また、平成23年7月の地上アナログテレビ放送終了に伴って発生する、地上デジタルテレビ放送難視聴地域については、国、放送事業者との連携を取りながら、受信施設の新設・改修体制等の充実を図るなど万全の対策をとり、地上デジタルテレビ放送への円滑な移行に努めていきます。



▲「天草クリーンアップ事業」で海岸漂着物・不法投棄対策を実施

菜の花プロジェクトとして取り組んで

いる、菜種油などの廃食用油の有効利用については、軽油に代わるバイオディーゼル燃料（BDF）として、ごみ収集車などの公用車に使用しています。今後は、廃食用油の回収体制とBDFへの変換装置の拡充を図り、市内の循環バスやスクールバス、船舶などへの使用拡大や、JRR三角線に運行予定の「菜の花列車」への燃料供給など、BDFの普及促進に努め、環境にやさしい天草の取り組みを市内外にアピールしていきます。

天草市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定など24議案を議決

平成22年第3回市議会定例会が6月7日から19日間の日程で開かれ、天草市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定や、歳入歳出の予算総額にそれぞれ16億782万円を増額し、502億5,777万円とする平成22年度天草市一般会計補正予算（第1号・第2号）など20議案がいずれも原案のとおり可決されました。また、教育委員会委員の任命や富津財産区管理委員の選任などについて同意されたほか、選挙管理委員と補充員各4人が選出され、同25日に閉会しました。

なお、吉川徳澄議員・浜崎義昭議員・江浦政巳議員・平石水穂前議員に永年勤続議員として全国市議会議長会会長からの表彰状が伝達されたほか、安田市長から感謝状が贈られました。

可決された議案

- ▶天草市御所浦町教育特区学校審議会条例を廃止する条例の制定について——勇志国際高等学校の学校法人化に伴い、審議会を廃止するもの。
- ▶天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について——新たに設置する特別職の報酬額を定めるもの。
- ▶天草市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について——雇用保険法の一部改正に伴うもの。
- ▶天草市税特別措置条例の一部を改正する条例の制定について——過疎地域自立促進特別措置法等の一部改正に伴い、課税免除の対象となる土地等の取得期限等を改めるもの。
- ▶天草市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について——御所浦北保育所の移転に伴うもの。
- ▶天草市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について——乳幼児医療費の一部負担金の助成の範囲を拡大するもの。
- ▶天草市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について——重度心身障害者医療費の一部負担金の助成対象者を改めるもの。
- ▶天草市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について——新和地区の新和小

学校と大多尾小学校を統合し、来年4月1日から新和小学校とするもの。

- ▶工事請負契約の締結について——楠浦小学校校舎棟改築（建築）工事に係る契約を締結するもの。
- ▶同——牛深小学校校舎改築工事（第I期工事）に係る契約を締結するもの。
- ▶天草市土地開発公社の解散について——公有地の拡大の推進に関する法律の規定に基づき解散するもの。
- ▶熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について——熊本県後期高齢者医療広域連合の議員定数などを改めるもの。
- ▶和解及び損害賠償の額の決定について——漁港施設内で発生した事故について和解するもの。
- ▶字の区域の変更について（2件）——地方自治法の規定に基づき字の区域を変更するもの。
- ▶市道路線の廃止及び認定について——2路線を廃止し、2路線を新たに認定するもの。
- ▶平成22年度天草市一般会計補正予算（第1号）——オリーブの鳥づくりの推進に向けた取り組みに伴う事業費など歳入歳出の予算総額に13億5,780万9千円を増額し、500億775万9千円とするもの。
- ▶平成22年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第1号）
- ▶平成22年度天草市病院事業会計補正予算（第1号）



永年勤続（15年）議員として表彰を受けられた
吉川 徳澄 議員



永年勤続（15年）議員として表彰を受けられた
浜崎 義昭 議員



永年勤続（10年）議員として表彰を受けられた
江浦 政巳 議員



永年勤続（10年）議員として表彰を受けられた
平石 水穂 前議員

- ▶平成22年度天草市一般会計補正予算（第2号）——農林業施設や土木施設の災害復旧に伴う事業費など歳入歳出の予算総額に2億5,001万1千円を増額し、502億5,777万円とするもの。

同意された議案

- ▶教育委員会委員の任命について——委員に岡部紀夫氏（亀場町亀川382番地）を任命することに同意。
- ▶同——委員に上原恵美子氏（本渡町本戸馬場1594番地9）を任命することに同意。
- ▶富津財産区管理委員の選任について——委員に中山達朗氏（河浦町今富2895番地1）を選任することに同意。
- ▶人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて——委員に須崎開正氏（深海町1853番地3）を推薦することに同意。

不採択となった請願

- ▶労働者派遣法の抜本改正を求める請願書

報告された事項

- ▶繰越明許費繰越計算書の報告について——平成21年度天草市一般会計
- ▶同——平成21年度天草市簡易水道事業特別会計
- ▶繰越計算書の報告について——平成21年度天草市水道事業会計
- ▶天草市土地開発公社の経営状況の報告について

- ▶財団法人天草下島北部地域観光振興公社の経営状況の報告について
- ▶株式会社くらたけの経営状況の報告について
- ▶株式会社うしぶかの経営状況の報告について
- ▶株式会社リップランドの経営状況の報告について
- ▶株式会社プラスファイブの経営状況の報告について
- ▶有限会社愛夢里の経営状況の報告について

■選挙管理委員

- ・川邊榮喜氏（久玉町284番地6）
- ・竹原純忠氏（五和町鬼池1044番地）
- ・山本清人氏（倉岳町棚底1727番地2）
- ・川田真理子氏（船之尾町3番9号）

■補充員

- ①野方昌則氏（新和町大多尾1104番地）
- ②浦田健市氏（栖本町打田809番地1）
- ③登 弘好氏（河浦町河浦2862番地1）
- ④鬼塚虎男氏（楠浦町2406番地）

※市議会定例会についての詳しいことは、本庁・総務課総務法制係 ☎②1111内線1214へお尋ねください。

議会改革調査特別委員会委員の定数を変更

議会改革調査特別委員会（委員長・田中茂議員）の委員定数が、8人から9人に変更になりました。これにより、同委員会委員に若山敬介議員が新たに選任されました。

【問い合わせ先】本庁・議会事務局議事調査係 ☎②1111（内線1302）



二江小学校
(五和町)

▲地域の人の前で音読の練習をする子どもたち

『分かった』『使えた』すすんで学ぶ ふたえっ子の育成

毎月第2・第4水曜日に、二江まちづくり振興会・防犯ボランティア部会の協力により、子どもたちが行う音読や漢字の書き取りなどの学習支援をしていただいています。このように、地域の人たちの協力を得ながら、低学年からの基礎学力向上を目指した研究に取り組みます。



佐伊津小学校
(佐伊津町)

▲自転車の正しい乗り方を教わる児童

みずか 安全教育について自ら考え、実践する 佐伊津っ子の育成

子どもたちに安全についての知識や技能を確実に習得させ、自ら考え、判断する力を身につけ、地域との連携を図りながら日常生活の中で実践できる児童の育成を目指します。また、校舎内や地域での安全に目を向け、危険予測・危険回避の能力の習得に取り組みます。



栖本中学校
(栖本町)

▲美術の授業で友だちの作品のよさを出し合う生徒

思考力・判断力・表現力を 育成するための学習指導の工夫

「確かな学力」の育成に向け、「思考力・判断力・表現力」の育成を目指して研究を進めます。小規模校でも、少人数で活発な意見交換のできるワークショップ型の授業のほか、五教科大会や集中学習会など“Sumoto, Study, Step up → Smile”^{くみう}につながる取り組みを行います。



御所浦中学校
(御所浦町)

▲サツマイモの植え付けをするようす

「豊かな心」を備えた生徒の育成

地域の人たちと一緒になって野菜を栽培するなど、豊かな自然、人情味豊かな地域とのふれあいのなかで得られた体験をもとに、心を揺り動かす道徳授業の実践に取り組みます。また、自分の考えを述べ合う・伝え合うという、意見交流の力をつける指導についても研究を行います。

下段右から江浦むつえ委員、濱崎献作委員長、上原恵美子委員、上段右から黒鶴進治教育委員長、職務代理者、松中美恵子委員、岡部紀夫教育長。



教育委員会委員に2人が就任

教育委員長に濱崎献作委員、教育長に岡部紀夫委員を選出

市教育委員会委員6人のうち、2人が欠員となっていました。市議会の同意を経て(8ページ「議会報告」を参照)、岡部紀夫氏(亀場町亀川)と上原恵美子氏(本渡町本戸馬場)が7月1日に就任しました。任期は平成26年6月30日までの4年間。これに伴い、7月1日に教育委員会臨時会を開き、教育委員長に濱崎献作委員、教育委員長職務代理者に黒鶴進治委員を選出。また、教育長については岡部紀夫委員が互選されました。

【問い合わせ先】 本庁(別館)・学校教育課教育企画係 ☎1111内線2507

教育の「質」、さらなる向上を目指して

～市教育委員会指定の研究推進校を紹介～



市教育委員会では、学校や地域の教育的な課題と関係つけた教科や道徳、特別活動などの研究を通して、児童・生徒の「考える力」「表現する力」「みずから追究する力」などの育成を図り、その成果を普及することを目的として、毎年度市内の各小・中学校の中から数校を“研究推進校”として指定しています。今号の教育委員会だよりでは、今年度同推進校に指定された小・中学校の研究内容をそれぞれ紹介します。



本渡南小学校
(川原町)

▲自分の考えを発表する児童

主体的に学び、表現する南っ子の育成

国語での学習を通して、書く、話し合う言語活動や読みの知識・技能の習得と活用などの研究に取り組みます。また、公開授業では低・中学年は説明的な文章、高学年は文学的な文章を使った授業を予定しています。大切にしたい日々の授業に、いかすことができる内容の授業を目指します。

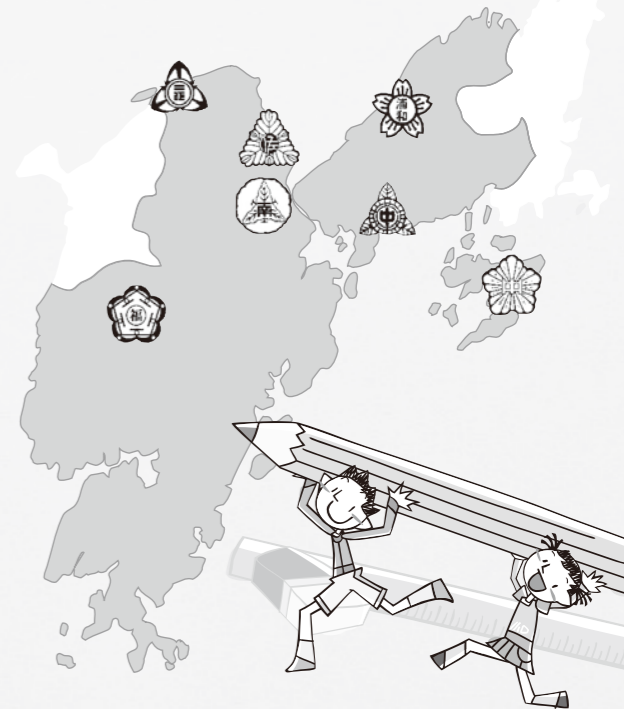


福連木小学校
(天草町)

▲子どもたちだけで学習をするようす

生きてはたらく読解力の育成

国語での学習を中心にして、児童の表現に成果を求める読解力の育成と、小規模校における複式授業の効果的な学習の進め方について研究を行います。自分の知っていることや経験したことと重ねて考え表現する「生活型表現」、児童の主体的な学習のあり方について研究します。



浦和小学校
(有明町)

▲地域の人たちにお世話になってレタスの収穫

宝島“天草”を知り、ふるさとを愛する 浦和っ子の育成

野菜やみかんの収穫体験など、校区内での地域学習や体験を通して、郷土“天草”のよさを実感し、誇りを持って生きることができる児童の育成を目指します。また、御所浦町の“とんとこ漁”など、天草全体を対象にした体験学習プログラムの開発についても取り組んでいきます。

わだいの



▲産卵を終えて海に帰るアカウミガメ

ウミガメの産卵 牛深・天草

無事に生まれてくることを願って

県の希少野生動植物に指定されているアカウミガメが産んだと見られる卵が、6月17日に牛深町・茂串地区の海岸のほか、同21日には天草町・白鶴浜海水浴場でも確認されました。白鶴浜海水浴場では、県の希少野生動植物の調査員が、ウミガメが上陸した足跡を発見。足跡をたどって砂場をていねいに掘り起こすと、直径約5cmの白い卵を多数確認したほか、7月5日には産卵を終えたアカウミガメの姿も見られました。調査員の宮口光敏さん(天草町)は、「今年も上陸してくれて安心した。ふ化するまでに約50日かかるが、無事にふ化してくれば」と話していました。

なお、調査員以外が卵に触れたり採取したりすることは禁止されています。皆様のご協力をお願いします。



▶茂串地区の海岸で発見された卵と同地区の皆さん

タコつぼの投入式 有明

どのタコつぼにいっぱい入るかな？

大浦地区振興会が取り組んでいる“タコつぼオーナー制度”の今年のスタートを記念して6月27日、大浦漁港で「タコつぼの投入式」が行われ、抽選で選ばれた50人とその家族などが参加しました。この制度は、一口5,000円でタコつぼを2個購入し、地元の漁師に漁を委託するというもので、今回で3回目。式典では、参加者がオーナー証を受け取ったあと、タコつぼに名前やイラストなどを書き入れてオリジナルのタコつぼを製作。その後、参加者は船で投入場所まで移動し、タコつぼが投入されるようすを見守りました。熊本市から参加した米岡卓さん・元気さん親子は、「タコがたくさん入るといいですね」と笑顔で話していました。



▲タコつぼを手にする米岡さん親子



▲タコつぼを投入するようす

栖本地区芸術文化祭 栖本

真夏の文化の祭典

7月19日、「栖本地区芸術文化祭2010」が栖本福祉会館で開かれ、地区住民など約250人が参加しました。これは、文化活動を通じて住民相互の交流を図ろうと、昨年発足した市芸術文化協会栖本地区文化協会が初めて実施したものです。催しでは、地元の小・中学校の児童・生徒が合奏を、また、カラオケ・フラダンスや詩吟の愛好者などが日ごろの練習の成果を披露。ときには穏やかに、ときにはにぎやかに発表する出演者たちに、来場者からは盛んな拍手が送られていました。



▲フラダンスを踊る“カイカマヒネノヘア”の皆さん

ニュースポーツ大会 御所浦

楽しかったよ囲碁ボール！

6月20日、御所浦漁村センターで「ニュースポーツ大会」が開かれ、嵐口地区の住民50人が参加しました。これは同地区振興会が、みんなで楽しめるスポーツを広めることを目的に昨年から開催しているもので、今回は“囲碁ボール”を実施。この競技は、碁盤に見立てた人工芝のマットを敷き、スティックを使って打ったボールの並び方で得点を競うもの。参加者は、はじめはとまどいながらも「とてもおもしろい」と夢中になっていました。



▲声援を受けスティックを握りしめて集中する参加者



▲さわやかな味わいをぜひご賞味ください

限定！いくりシャーベット販売開始！ 五和

地産をいかした「ものづくり」

城河原地域づくり振興会では、地元でとれる“いくり”を使ったシャーベットの販売を始めました。いくりはスモモの一種で、城河原地域では各家庭で果実酒や生食用として広く栽培されており、毎年7月が収穫の時期。このシャーベットは、いくりの酸味と鮮やかな赤色の果肉がいかされており、夏の暑さを涼しくしてくれるようなすっきりとした味が特徴で、1個210円で販売されています。購入方法などの詳細は、同振興会事務局(五和支所・内野出張所内) ☎0355へお尋ねください。

繭姫通り「女の夜祭り」 本渡

年に一度の歩行者天国に多くの人出！

船之尾町から大浜町を通る市道(通称・まゆ姫通り)で7月3日、「繭姫通り『女の夜祭り』」が開かれ多くの人出でにぎわいました。これは同祭り実行委員会が、かつてこの場所にあった繭市場にまつられていた女神にちなんで、毎年開催。この日は、歩行者天国となった同通りに約50軒の屋台が軒を連ねたほか、10月に結婚するカップルによる花嫁・花婿姿のお披露目もありました。また、一般公募で選ばれた“まゆ姫様”や巫女も美しい衣装に身を包んで登場し、祭りを彩るなど大盛況でした。



▲“まゆ姫様”が花嫁・花婿を率いて行列

社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会

ドリームをあきらめないで

7月3日、「第60回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化推進大会」を牛深総合センター大ホールで開催し、約850人が参加しました。大会では、同運動を啓発する作文・標語入賞者の表彰や事例発表のほか、タレントのルー大柴さんが「人生マウンテンありパレーあり～ドリームをあきらめない～」と題し講演。自分の生い立ちや体験を、英語を交えた独特の口調で語りながら、「何歳になってもチャレンジ精神を持って」と話していました。



▲終始会場内を巡りながら講演をするルー大柴さん



▲楽しく会食をする安田市長と児童たち

学校給食で天草黒牛の肉を味わう

天草のおいしい牛肉ありがとう！

6月14日から同30日にかけて、市内の各小・中学校の給食で、天草黒牛の肉を使った牛丼やカレーなどがふるまわれました。この牛肉は、家畜の伝染病である口蹄疫が宮崎県で発生する中、牛肉の消費拡大と安全性をアピールしようと、天草畜産農業協同組合（澤地茂組合長）から市に贈られたもの。同24日には、河浦町の一町田小学校で澤地組合長や安田市長が出席して会食を実施。児童たちは、メニューの“焼肉”をおいしそうにほおばっていました。

韓国・忠清大学の学生などが来市

天草の文化に触れながら交流を楽しむ

6月24日から同27日にかけて、韓国・忠清大学の学生など12人が本市を訪れました。これは、今年1月に締結した市と同大学との官学協同に関する協定における、文化交流の一環として実施したものです。交流団一行は、ホストファミリー宅にそれぞれ滞在し異文化交流を行ったほか、同25日には内覧会中の天草キリシタン館を見学。学生たちは、職員からの説明を聞きながら、天草四郎陣中旗のレプリカなどの貴重な展示物を、真剣に見入っていました。



▲同館展示室にある資料映像を真剣に見入る学生たち
※同館展示室内の写真撮影は禁止されています。



▲写真の説明をする山菅さん(左)

山菅シホコ&大西ジュンコのポルトガル風景写真・アズレージョ展

ポルトガルの文化や風景に思いをはせる

6月26日から7月11日にかけて、「山菅シホコ&大西ジュンコのポルトガル風景写真・アズレージョ展」が天草宝島国際交流会館ポルトで開かれました。これは、市などが天草キリシタン館の開館を記念して開催したものです。会場には、山菅さんが撮影した同国の風景写真や大西さんが製作したアズレージョ（絵陶板）約70点を展示。同展初日には山菅さんと大西さんが訪問し、来場者は2人からの説明を聞きながら、熱心に作品を鑑賞していました。

かわうらエンジョイミニバレーボール大会

河浦

白熱した試合に大きな声援！

6月20日、河浦まちづくり協議会主催の「第17回かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が河浦中央体育館で開かれ、今回から新たに設けられた40歳未満男子の部や50歳以上男子・女子の部など、合計7種目に63チーム・約450人が参加しました。大会では、各チームとも日ごろの練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げたほか、この日は“父の日”とあって、応援席の子どもたちが「お父さんがんばって」と元気に声援を送る姿が見られました。



▲真剣勝負を繰り広げる参加者



▲熱のこもった演奏をする高崎さん

高崎裕士ファミリーコンサート

新和

迫力ある三味線の音に感動！

6月26日、新和町民センターで津軽三味線奏者・高崎裕士さん（熊本市）のファミリーコンサートが開かれました。これは、小宮地地区振興会・小宮地公民館・新和小学校が、文化的意識の向上を目的に、子どもからお年寄りまで楽しんでもらおうと企画したものです。この日は町内外から家族連れなど約400人が来場し、海外でも活躍している高崎さんは、迫力ある演奏で来場者を魅了。訪れた子どもたちは、「かっこよかった」と話していました。

“うしぶかまるごと朝市”が2周年

牛深

牛深のまちおこしのために

地元のまちおこしグループ・朝市ボランティア&となり組店主催で、毎月第3日曜日に牛深町のハイヤ通りで開催している“うしぶかまるごと朝市”が、6月で発足2周年を迎えました。このグループは、同朝市のほか牛深地域内の観光ガイドや水産加工場巡りなども企画し、観光客の誘致や地域の活性化に取り組んでいます。同グループ・代表世話人の田中稔さんは「今後も生産者の皆さんといっしょに牛深のまちおこしにがんばります」と話していました。



▲大漁旗に彩られた朝市のような様子

倉岳地域づくり講演会

倉岳

地域の活性化への取り組みを聞く

「倉岳地域づくり講演会」が6月23日、倉岳多目的研修集会施設で行われ、各地区振興会関係者など約100人が参加しました。これは、倉岳まちづくり協議会が毎年開催しているもの。今回は、天草町・下田南地区振興会の西嶋隆明さんが講師となり、同振興会で取り組んでいる地元産の新鮮な魚や野菜、加工品などを出郷者に送る「ふるさと家族便」に関する講演を実施。参加者は、地域の地域づくりにいかそうと、西嶋さんの話に耳を傾けていました。



▲「地元が潤うような取り組みが大切」と語る西嶋さん



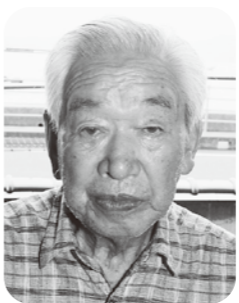
松下佳奈さん (天草町高浜北・23歳)

母校の天草中学校で、学校栄養職員をしています。地元ということもあり、地域の人たちにかわいがっていただき、のびのびと仕事をしています。これからも、「笑顔になる給食」を目標に、生徒が喜んで食べる姿を思い浮かべながら、調理員の皆さんとがんばっていきます。

宝島の健康

よさげさん

山並國正さん (倉岳町宮田・90歳)



◆毎日の楽しみは？
魚釣りが3度の飯より大好きで、90歳になった今でも自分で仕掛けを作って出かけます。自分で釣った魚をおかずに晩酌するのが、最高の楽しみです。

◆健康の秘けつは？
魚釣りの道具作りや網の修理などで手先を動かすこと。また、できるだけ自分の足で歩くことを心がけており、自宅から近くにある旅館までの約1kmの道のりを、ほぼ毎日歩いています。



登校時に校門であいさつ運動をする児童

日本一の学校を目指して

瀬戸小学校 (志柿町)

6年 渡辺ほのか

私たちの学校では、ノーチャイムに取り組んでいます。それは、すべての児童が時計を見て行動できるようにするためです。チャイムがならないことで、自分たちで時計を見て行動することができるようになります。私たちの学級では、授業が始まる時刻にはきちんと全員着席しています。また、私たちはあいさつ日本一の学校を目指しています。朝からあいさつ当番の人が、元気よくあいさつをします。私たちもそれに負けないように元気よくあいさつをしています。学校でも地域でも元気のよいあいさつを心がけています。これから私たちが卒業してからも、この伝統をずっと続けていってほしいと思っています。

ぼくのわたしの学校部活自慢

あいあいタイム

二江小学校 (五和町) 2年 宮崎あゆさ

ふたえ小学校には、月に2かい「あいあいタイム」といって、ボランティアのおじいちゃんやおばあちゃんといっしょにおべんきょうをする時間があります。今までに2かいありました。

1かい目は、「たんぼのちえ」を聞いてもらいました。わたしは大きな声で読んだので、おじいちゃんからほめてもらいました。とてもうれしかったです。

2かい目は、「歩く」というかん字をまちがえてしまいました。でも、おじいちゃんが、「がんばったね」と言ってくれました。うれしかったです。おじいちゃんおばあちゃんも、うれしそうでした。



本読みを聞いてもらうようす

プールあそびなどで体力づくり

しらさぎ保育園 (天草町)

しらさぎ保育園 (白川義洋園長・全園児29人)は、「あかるい子」「げんきな子」「すなおな子」を園訓にかけ、今年度は特に体力づくりに取り組み、跳び箱・マット・ラダーを朝の日課にしています。夏真っ盛りの中、2階の広場に設置してあるプールでは、潜ったり、ワニ泳ぎやロケット泳ぎをしたりと、夏の太陽に負けないくらい元気いっぱいの子どもの歓声が響き、そのかたわらでは、園児たちが種まきしたゴーヤやミニトマトが実をつけ、風に揺れています。この体力づくりを通して、園児たちには暑い夏を乗り切り、その後訪れる寒い冬にも病気ひとつしない、じょうぶな体になってくれることを願っています。



ひばり組・うぐいす組の仲良し16人!!

このゆびとくまれ



おじいちゃん、おばあちゃん、だ〜いすき!!

三世代交流会で「みんないっしょにいいお顔！」

本町保育園 (本町)

本町保育園 (堀本れい子園長・全園児50人)恒例の七夕会では、おじいちゃんやおばあちゃんが先生になり、いろいろな笹飾りの作り方を教えていただいたり、短冊に願い事を書いたりして、お父さんやお母さんもいっしょに楽しい時間を過ごします。短冊はシュロの葉を裂いた“こより”で結わえますが、シュロや笹竹の芳しい香りと懐かしい墨の香りに包まれながら、年に一度のすてきな再会をみんなで喜び合います。シュロの葉を裂いたり、里芋の葉っぱから朝露を集めて墨をする体験、大好きなおじいちゃんやおばあちゃんとのうれしい時間が子どもたちの心にふんわり優しく届き、楽しい思い出となりますように…。

地域づくりコーナー

人が動く 地域が動く 天草が動く

活性化は地域住民の参加から

御所浦北地区振興会 (会長 長濱又雄)

御所浦北地区は、少子高齢化に伴う定住人口の減少や、地域産業である漁業の低迷など深刻な問題を抱えており、以前のような活気がなくなってきたいます。このような中、御所浦北地区振興会では、地域に元気を持つてもらおうと、子どもからお年寄りまでがいっしょになって参加できる事業を実施しています。その一つは、地区の小学生を対象にした「地引き網体験」です。学校とPTAが中心となって準備をして、島の入江で行います。当日は、子どもたちがいっしょけんめい体験する姿を見ようと、たくさんの方が見物に来ます。また、ウォーキング大会やヤングラウンドゴルフ大会にもたくさんの方が参加するほか、小



▲「地引き網体験」を楽しむ参加者の皆さん



市長随筆

遠野に学ぶ文化的景観

天草市長 安田 公寛



◀同市に残る伝統家屋
曲り家の前で

全国文化的景観地区連絡協議会の総会・研修会が7月8・9日の両日、岩手県の遠野市を会場に開かれ、私も参加してまいりました。遠野に生きる人々の生活・生業の実態、特に自然・信仰・風習に関連する独特の文化的景観が描かれた柳田國男の『遠野物語』の発祥の地は日本の原風景をとどめ、とても魅力的なまちでした。

文化的景観は、棚田や里山などの農耕に関する景観地をはじめ、港、採掘・製造、流通・往来など人々の生活や営みを通じて生み出された景観のことを指しますが、日々の生活に根ざした身近な

景観であることから、そこに住む人々はその価値にはなかなか気付かないのが実情です。遠野には、先人が培ってきたすばらしい歴史や文化、風土がいたるところに残されており、それを継承している人々の営みを感じましたが、そこを訪れる人たちを引き付ける魅力なのでしょう。重要文化的景観に選定されることが最終目的ではなく、それを地域で守り育てていくこと、そして、自信と誇りを持って地域づくりに取り組んでいくことが大事なのではないでしょうか。

煌めく人々たち

心と体をときほぐすカイロプラクティック

永井加奈子 さん (牛深町・31歳)



牛深町に住む永井加奈子さんは、自宅で女性専門のカイロプラクティックの施術院を開いて5年になる。カイロプラクティックとは、背骨や骨盤のゆがみなどの矯正のほか、運動や栄養の指導を行う治療法のこと。

「体の改善はもちろんですが、笑顔になってもらえることがなによりうれしい」と永井さん。「元気をもらいに来たよ」と声をかける来院者がいるのは、体だけでなく、心もときほぐす術を持ち合わせているからに違いない。

ために訪れたのが、カイロプラクティックの施術院だった。そこで永井さんは、徐々に症状が改善していく中で、カイロプラクターという職業に興味を持ち始める。その後、いったんは看護師として仕事を始めたが「カイロプラクターへの思いを募らせていた」と永井さん。22歳で職場を退職し、新たな夢に向かって進むことを決意。養成講習やアメリカでの研修を経て、24歳で念願のカイロプラクターになった。これまでに治療した人数は約1,000人。現在は来院者の治療を行うほか、県内外にも出張するなど多忙な日々を送る。そんな永井さんは地元の青年会議所に所属し、牛深ハイヤ祭りに参加するなど、地元を盛り上げる活動にも積極的だ。

ハッピー パースデー

HAPPY BIRTHDAY 今日で1歳になります



田中 愛乃 ちゃん

牛深町
父・祐徳さん
母・由佳さん

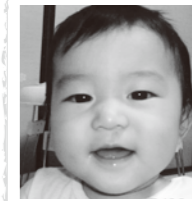
お兄ちゃんとお姉ちゃんと仲良く、すくすくと成長してください!



平山 和奏 くん

天草町大江
父・和彦さん
母・由佳さん

わか坊、今日も元気に笑顔をふりまいてま〜す!



倉田 朋来 くん

亀場町亀川
父・佳和さん
母・茜さん

みんなにかわいがられて幸せです。これからもよろしくね。



浦田 湊 くん

下浦町
父・寛さん
母・歩美さん

おじい、おばあ大好き! わが家の元気づける看板息子です。



豊本 朱里 ちゃん

浄南町
父・浩志さん
母・香織さん

毎日、元気&笑顔いっぱい朱里ちゃん! 大きく育ててね!



瀬崎 恒真 くん

牛深町
父・恒夫さん
母・真紀子さん

ほくは、芸達者です。マンマをいっぱい食べて大きくなります!



吉永 羽汰 くん

本渡町広瀬
父・正敬さん
母・美保子さん

うたはみんなに愛され喜ばれる神様のプレゼントです。



宗像 海斗 くん

亀場町亀川
父・真也さん
母・順子さん

パパとママの宝息子♡元気で健康に育ってね!



山川 結理奈 ちゃん

有明町大島子
父・道成さん
母・亜矢さん

とも兄、えり姉、じいちゃん、ばあちゃん、いっぱい遊んでね!!

9月で満1歳になるお子さんを募集します!

●応募期限=8月10日(必着)。

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631 (住所記載不要) 天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



「海には白いカラス(かもめ)と猫がいるね。空には小さいカラスと大きなカラス(トンビ)だ。あつ、あつちの山に赤いお日様(夕陽)だ。ばあちゃんちはおもしろいね、ははは…」
※久々に帰省した3歳の孫が、梅雨の晴れ間に家の前を眺めたときのつぶやきです。
ペンネーム: アイコさん

毎年、梅雨の時期はウナギ釣りが楽しみです。初めて釣り上げたとき、うねりながら上がってくる姿に「気持ちわり〜」と鳥肌が立ったのを覚えています。今では、七輪とビールしか頭をよぎりません。ただ、今年はまだ行けずじまいです。

ペンネーム: くろんたのりょ〜し



皆さんからのお便りを募集しています!

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、ぜひご応募ください。原稿は100字程度で、応募者多数の場合は選考のうえ掲載します。

※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限=8月10日(必着)。

▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、性別、電話番号を記入し、〒863-8631 (住所記載不要) 天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。



～きらずの煮しめ～

材 料 (約4人分)

おから…………… 200g
 青高菜…………… 60g
 ニンジン…………… 20g
 てんぷら…………… 1枚
 干しいたけ…2～3枚
 にぼしでとっただし汁……………500cc
 薄口しょうゆ…大さじ4杯
 料理酒…………… 大さじ1杯

作 り 方

- ①高菜はきれいに洗って長さ2cm程度のざく切りにして、ニンジンは長さ3cm程度、てんぷらは大きさをそろえて短冊切りにする。干しいたけは戻して薄く切る。
- ②鍋にだし汁とニンジン、干しいたけとてんぷらを入れて火にかけ、煮立ったら高菜を加える。
- ③ニンジンがやわらかくなったらおからを加え、煮立ったら薄口しょうゆと料理酒を加えて味をととのえる。

「きらず」とは“おから”のことで、今回はおからを使った煮しめを紹介합니다。にぼしの風味と高菜のシャキシャキとした食感が絶妙で、味付けもしっかりしているので、ごはんのおかずぴったりです。皆さん、ぜひお試しください。

提供：市食生活改善推進員協議会



写真①



写真②

本渡バスセンター(写真①)は、それまで中央新町にあった本渡中央バス停留所を移転して、昭和53(1978)年、南新町に完成し1日に430便、約8,000人が利用する天草の一大交通拠点でした。その後、自家用車の普及などに伴い利用者が減少。平成17(2005)年には同所に規模を縮小して新設され、残った跡地は銀行や書店など(写真②)になっています。

【問い合わせ先】天草アーカイブズ(五和支所内) ☎25515

天草アーカイブズ収蔵

思い出写真館

天草の交通拠点「本渡バスセンター」



朝にテレビで放送されている、子ども向けの番組が気に入っています。子どもの目覚めを促す意図で製作されているようですが、おとなの私も楽しんでしまいます。本格的な夏が始まり、朝からうだるような暑さですが、おかげで出勤前は頭と体がシャキーン！となっています。

【素】

夏が来た！と思ったとたん数年ぶりに「がぜ」をひいた。元気だけがとりの私、周りからは怪奇現象が起きたと言われ、認めたくはないけれど年々体力が落ちていることを実感する。でもこれからが夏本番で、イベントなども目白押し。暑さに負けないよう取材に走りまわります！

【海】

最近、カタカナ語がちまたにはらんして、正確な英語か、造語なのか判断に苦しみます。▼アイデンティティー×あんちゃん手エエ
 ○自己の存在証明▼コラポリーション×こら棒でしょう
 ○共同作業。毎日、カタカナ語辞典を手に奮闘中で、まさに「イン」にシエンです。

【凡】



編集後記